

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・消費が上向いている雰囲気がある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数が増えており、販売量も若干増加している。
		美容室（経営者）	それ以外	・夏に来客数が少なかったため、今月に入ってから来客数は増加している。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・先月に比べ、多少であるが高級品が売れている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・地域によっては販売量が増加しているところもある。売上も前年並に推移している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・国内旅行が見直されている。天候にも恵まれて来客数は増加している。客単価は低いが売上は5か月連続の増加である。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・秋の改装もあって客に購買意欲が見られる。限定商品や話題性のある店舗には列ができています。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・寒くなり冬服の動きが活発である。特にキャリア向け衣料に勢いがある。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・9月の残暑の反動で今月は秋物の動きが好調である。コートなど冬商材の比較的高額品も前年よりも先行して売れてきている。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・特に10～20代の女性向けの洋品、貴金属の売上が伸びている。全体でも前年を大きく下回る売場はなく下げ止まっている。
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・外商の来客数が増加し、売上も増えている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・寒さが到来し鍋商材が一気に売れ始めている。客の購入額、購入量ともに増加している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・不振であった衣料品関係の動きが良くなっている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・1人当たりの買上点数が6%程増加している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・競合が厳しいため来客数は回復していない。しかし徐々に客単価の回復が見られる。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・高額商品のプラズマテレビやDVDプレーヤーがよく売れている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・他社に新型車が投入された余波で来客数が増えている。客の購買意欲は高まっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・日によって来客数にはかなりのばらつきがあるが、売上は前月比で増加している。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・法人客の利用が目に見えて増加している。
		都市型ホテル（支配人）	それ以外	・様々な業界の取引先や宿泊客は、今春は先行きを懸念していたが今は結構忙しいと話している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・メーカーの設備投資に関連した客が増加し始めている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊単価、稼働ともに前年を大きく上回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・2泊3日ほどの宿泊を伴う企業研修の客が増加しており、飲食の売上も増加している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・需要は少しずつ増加しており、前年水準まで到達しつつある。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客から受ける感触が少し良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人客の動きが引き続き好調である。パッケージツアーは前年同期比で130%を超える勢いとなっている。 ・反面、低価格商品は好調だが高額品の動きは鈍い。そのため、数量は伸びても売上はそれほどでもない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・過去に比べて今年は団体旅行数が増加しており、良い兆候である。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・団体客が増加してきている。

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・賃貸マンション、アパート、リフォームの受注が増加している。都心部では高齢者専用マンションの需要もある。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客の決断が早くなり、販売量が増加している。
	住宅販売会社 (企画担当)	お客様の様子	・客からの問い合わせ件数が若干増加している。
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・客は相変わらず必要以外の商品は購入せず、客単価が伸びない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・店舗によって売上の良い悪いがはっきりしてきている。
	商店街(代表者)	競争相手の様子	・当店の仕入れ価格よりも大型店の販売価格のほうが安く、客はそちらに流れている。
	一般小売店〔生花〕(経営者)	単価の動き	・贈答用花束の客単価が2～3割安くなっている。
	一般小売店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・客の買い方は相変わらず慎重かつ堅実であり、売上が伸びていかない。
	一般小売店〔薬局〕(経営者)	販売量の動き	・企業客が多い平日の来客数はよいが、一般客が主になる週末の来客数は激減している。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・気候も寒くなり冬服も動いているが、平日に購入する客は少なく、購入は土日に集中している。
	百貨店(企画担当)	それ以外	・重衣料の売上が順調に伸びており、前年を上回る予想である。
	スーパー(経営者)	来客数の動き	・依然として客単価が非常に悪い。
	スーパー(経営者)	販売量の動き	・先月に得意先の1軒が閉店したが、今月もまた1軒閉店する。
	スーパー(経営者)	それ以外	・同業者の状況は厳しいが、当社の場合はすき間産業的な仕事が功を奏し、前年比110%の売上で推移している。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は依然として前年の96%前後で推移しており、回復の兆しが無い。競合店のチラシによる低価格攻勢で単価を下げざるを得ない。
	スーパー(店員)	来客数の動き	・競争が厳しい。当店の来客数は、競合店がチラシを出すすと減少し、競合店の定休日になると増加する。
	スーパー(店員)	来客数の動き	・近所に大型競合店が出店し来客数は減少している。しかし売れている商品は引き続き好調で、状況に変化はない。
	コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・近隣に公設市場があるが、閉鎖が続いている。個人の零細小売業は本当に限界にきている。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・低単価商品の動きは相変わらず好調であり、特に値打ち感のあるセール品の動きは際だっている。
	コンビニ(エリア担当)	それ以外	・売上の前年比は95%台であり、前月比でもやや悪化している。他社との競合状況も厳しくなっている。
	コンビニ(売場担当)	それ以外	・売上が対前年で95%前後と減少している。
	衣料品専門店(企画担当)	販売量の動き	・数量は売れても、売上は伸びていない。
	家電量販店(経営者)	お客様の様子	・客の購買行動は引き続き非常に慎重である。
	家電量販店(店員)	競争相手の様子	・来客数、販売量は悪くはない。同業他社も同様な状況である。
	自動車備品販売店(経営者)	競争相手の様子	・客の財布のひもはまだ固い。商品面の充実だけでなく備品の取り付けなどサービスの向上を一層進めないと将来はない。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・来客数は対前年比で増加している。しかし客は競合他社の店舗も回っており、慎重な姿勢の表れである。したがって売上などの実績には結びついていない。
乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・販売数は前年を確保しているがサービス部門の需要は減少しており、売上は変化していない。	
乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新型車に期待をかけていたが、売上は前年の85%と残念な結果に終わっている。	
住関連専門店(店員)	販売量の動き	・商品によって差はあるが、販売合計では前年並となっている。努力次第で下げ止まると思われる。	

		住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・公共工事は減少しているが、民間の設備投資や住宅は多少上向いている。しかし販売金額は厳しい状態が続いている。
		その他小売 [貴金属] (経営者)	販売量の動き	・客は多少購買意欲が出てきているが、客単価は低い。
		その他小売 [総合衣料] (店員)	販売量の動き	・気温の低下が遅く、秋物商品の動きが鈍い。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・イベントやフェアの開催時には来客数を確保できるが、それ以外の日の動きは鈍い。同業他社の店舗も催事やテレビ、雑誌で紹介された時には来客数が増えているようだ。
		旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・受注量は持ち直しているが、単価が低下しており、総合的に見ると変化がない。
		旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・客は高い商品でも安い商品でも、その内容に見合う価格かどうかを吟味している。そのためどちらにしても利益率は良くならない。コスト削減努力は今後も必要である。
		旅行代理店 (従業員)	単価の動き	・来客数はそこそこであるが、客単価は上昇していない。
		タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き お客様の様子	・悪い状態で横ばいになっている。 ・昼の乗客数に変化はないが、夜の乗客数はまだまだである。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・客単価、来客数ともに変化がなく横ばいである。
		ゴルフ場 (経営者)	来客数の動き	・来場者数、客単価ともに前年比で減少傾向にあり、回復の兆しも見えていない。
		パチンコ店 (経営者)	販売量の動き	・販売量、来客数ともに一段落している状態である。
		美容室 (経営者)	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。
		設計事務所 (経営者)	単価の動き	・単価は相変わらず横ばいか低迷状態である。
		設計事務所 (職員)	販売量の動き	・若い世代の中で、建売住宅を買うのではなく、設計士に依頼して住宅を建てる人が増加している。
	やや悪くなっている	スーパー (仕入担当)	単価の動き	・青果相場が不安定であることから、売上は野菜が前年比92%、果物が98%と前年を下回っている。鮮魚部門も、さんまは豊漁から価格が下落し前年比95%と伸び悩んでいる。米だけが値上がりの影響から前年比102%と上回っている。 ・来客数も対前年比98%と厳しい状況である。
		コンビニ (店長)	単価の動き	・客単価は前年比で100円近く下がっている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数の減少に加え、客単価の低下が目立っている。
		スナック (経営者)	来客数の動き	・夜の街は閑散としており、1週間のうち1日でも忙しければ良い状況である。
		ゴルフ場 (企画担当)	来客数の動き	・ゴルフシーズンにもかかわらず、来客数の減少が目立っている。
		美容室 (経営者)	来客数の動き	・競合店が増加しており、客の回転も悪くなっている。
	悪くなっている	コンビニ (店長)	販売量の動き	・たばこは売上を維持しているが、それ以外の商品の売上は減少している。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・新型車が発売されボーナス商戦も控えており、来客数が増加する時期であるが、減少している。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・客1人当たりの来店回数が激減している。
		スナック (経営者)	来客数の動き	・19年間店をやっているが、売上は過去最悪である。他の同業者も、今月の売上は例年暇な8月よりも悪いと話している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・乗客数が減少し売上は激減している。同業者からも同じ声が聞かれる。
企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品 製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月の売上は3か月前と比較して1割以上増加している。利益も大幅増である。

やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに5%程増加している。	
	化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の動きが上向いてきている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注価格は低いが、受注量は増えている。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・東京都などの排ガス規制の影響もあり、規制に対応した当社では関東方面への物流がやや増加傾向にある。反面古い車両が多い運送業者は苦戦している。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・住宅関連の荷主の動きが10~25%の伸び率を示しており、大変良くなっている。一般の荷主はほとんど変化がない。	
	金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・円高の影響でドル建ての年金商品がよく売れている。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・大企業の設備投資の増加に伴い、下請企業でも受注が伸びている。仕事はあるのに増産に対応できない状態も続いている。	
	経営コンサルタント	それ以外	・土地などの売り物件が少なくなりつつある。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・全体的に設備投資が増加している。長い間取引のなかった客からの発注もあり、仕事があり余っている状況である。	
変わらない	印刷業（営業担当）	取引先の様子	・仕事はあるが、突発的な仕事が多く、継続した案件になるかどうかは疑問である。	
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・単価はやや低下しているが販売数量はやや増加している。その結果売上は横ばいである。	
	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注量や販売量の動き	・受注量は相変わらず低い水準で推移している。単価の低下も心配される。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・前月に続き引き合い案件は増加傾向にあるが、販売価格は相変わらず厳しい。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産量は横ばいであるが、売上がよくない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は横ばいで推移しており、大きな変化はない。海外販売は依然として好転の兆しが見られず苦戦している。	
	電気機械器具製造業（従業員）	それ以外	・国内の取引先企業は縮小傾向にあり、設備投資の見送りが続いている。製品を国内で売り上げても中国の設備向けとして出て行ってしまふ。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷物の量、料金、単価などどれをとってもピークが見えず、ほとんど横ばい推移している。	
	金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・保険に対する企業の関心が高いが同時に保険料の削減にも積極的で、コスト削減の手段となっている。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・単発の細かい受注は若干増加しているが、定期的な案件は少し減少している。	
	税理士	受注価格や販売価格の動き	・製造量、卸小売業は価格も安定してきており、底を脱した感がある。建設業はまだまだ厳しい状況である。	
公認会計士	それ以外	・都銀など金融機関の状況が変わらないため中小企業では資金に対する不安や慎重な姿勢もみられるが、信用金庫などの貸出は多少増えているため順調な会社も出てきている。		
やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・中部国際空港の建設などで低価格受注が常態化している。各種プロジェクトの案件に動きはあるが、価格上昇の気配はなく、利益確保は難しい。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	競争相手の様子	・新商品の見積を出しても、今の設備の修理で終わってしまうことが多い。	
	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・注文に追われる状況が続いていたが、現在は一段落している。	
悪くなっている	その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先のデザイン開発費が削減されている。	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・需要は増加してきているが、長期ではなく中期での雇用の要望が多く、企業側に慎重な動きが見られる。

	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・東海地区のアルバイト、パート募集の求人広告の伸び率は過去最高である。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・有効求人倍率は1.50倍と順調に伸びている。 ・自動車関連企業で引き続き求人が増えている。ただし正社員の採用は控え目である。
やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・全業種にわたって求人数が2～3割増加しているが、求職者は8割程度しか確保できておらず、深刻な労働者不足の事態に陥っている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・例年年末は求人数が減少する傾向にあるが、今年は前年と比較して良くなっている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・失業保険を受ける求職者の数が減少傾向にある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は3か月前と比較し、月間有効求人が12.7%増加し、月間有効求職者が8.3%減少しているため、0.17ポイント上昇の1.02倍と2年6か月ぶりに1倍台を回復している。前月と比較すると0.06ポイント上昇している。 ・新規求人は前年同月と比較し、全体で20.3%増加している。業種別の新規求人は卸小売業で29.3%、サービス業で20%、製造業でも10.3%増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・大手企業の9月の中間決算に伴い、下請け企業の業務量が増加している。 ・建築関係の総合工事業で、道路警備の求人も増加している。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・紹介数、採用者数、就職率のすべてにおいて、3か月前より上昇している。
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・自動車関連企業からの、電気、機械、材料等の技術者の求人は依然として多い。IT関連企業からの求人も増加しており、企業の求人意欲は全般的に増加傾向である。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・自動車産業の採用意欲が中心となり、通信、金融、証券、電気などでも全般的に意欲が出てきている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・秋の催事に関連した引き合いは多いが、業界内での売上の伸びは全体として芳しいものではない。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・スタッフが不足しており、派遣の注文に派遣社員数が追いついていない。
	職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・9月の有効求人倍率は6年6か月振りに1倍台を回復している。ただし、45才以上の求人倍率は0.38、55才以上では0.23と、中高年の就職は依然として厳しい。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-